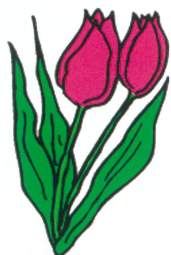


足立区青少年委員会だより



区の花:チューリップ

あだち

第 79 号
令和 7 年 9 月 24 日
編集発行
足立区青少年委員会
広報部
足立区教育委員会
青少年課
足立区青少年委員会ホームページ



<http://adachi-seishounen.jp>

青少年委員会では子供たちに季節の移り変わりや日本文化の一端を感じてもらおうと、年に 4 回区役所アトリウムでの飾りつけをしています。
また年度初めには年中行事、記念日等を記載したカレンダーを発行し、区立小中学校や地域の関係団体等に配付しています。



七夕飾り



お月見



端午の節句



カレンダー



お雛様



願いが届くかな



七夕飾り準備中

青少年委員会は年中行事・記念日を大切にしています

青少年の健全育成に適した活動であるかを基準におき「たくましく生き抜く力をはぐくむ」お手伝いをしてまいります。

自負にもなると 생각합니다。

青少年委員会は学校・地域の繋ぎ役ですが、全体を見て把握し、その時々での様に活動するかによって、学校内外の活動をきちんと進めていくことができるかが決まると言っても過言ではないと考えています。周りから見れば脇役かもしれない。だからこそ我々が主役なんだという意識と自信を持って活動してほしいと思います。それが周りに伝わればコーディネーターとして青少年委員の活動や立ち位置が確立されていき、子供たちの未来を支える一員としての自負にもなると 생각합니다。

1 期 2 年の折り返しであり集大成でもある 1 年が始まりました。青少年委員会として委員として、何が出来るか？何を残せるか？を常に考えてきました。

会長就任時から各団体へ青少年委員の周知と委員の皆さんには自覚を持って活動をして欲しいと折に触れ発信してきました。



足立区青少年委員会会長

高橋 将郎

繋ぎ役としての主役

子どもたちの心を 育てるために

足立区教育委員会青少年課長

西島 誠



青少年委員の皆さまには、地域の子どもたちの健全育成に多大なるご尽力をいただき、心から御礼を申し上げます。

足立の未来を担っていく子どもたちが、夢や希望を持って成長していける社会の実現こそ、何より大事なことでありと思っています。子どもたちを取巻く環境がめまぐるしく変化する中で、私たち大人に求められる役割も多様化・複雑化してきていると考えます。そのような中では、学校・地域・家庭をつなぐ青少年委員の皆さまの力が不可欠です。地域の子どもたちを温かく見守るとともに、子どもたちの声にしっかりと耳を傾けていくことが重要であると考えます。皆さまがつなぐ地域の様々な体験を通して、子どもたちの生き抜く心を育てることができると確信しています。

青少年課職員一同、皆さまと手を携え子どもたちのために力を尽くしてまいる所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

フLOORアップ研修を 終えて

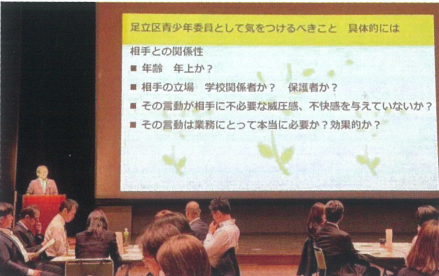
広報部 横濱 陽

5月19日、区役所庁舎ホールにてフLOORアップ研修会が開催されました。

講師には弁護士遠藤啓之氏をお迎えし、まず「世のトラブルはハラスメントにあり」を演題としてご講話いただきました。その後グループディスカッションに移り、挙げられたハラスメント事例について各グループで話し合いを行いました。

講話ではどのような言動がハラスメントとされるのかを分かりやすく解説していただきました。特に青少年委員として公的な立場にある私たちに与えられたべき点を具体的に交えた、大変有意義なお話でした。

また、グループディスカッションでは各グループで二つの事例について話し合いました。話し方はもちろん、意見する際は押し付け



聴講を正し

けにならないよう提案の形をとる、相手のお名前をきちんと呼ぶ、学校へ足を運んでコミュニケーションを取るなど、様々な意見が挙げられました。

研修会全体を通して、相手を尊重し関係性を深めるためのアイデアを持ち帰ることができ、スキルアップも意識した充実した学びの場となりました。



各校の情報共有にもなりました

広報部取材シリーズ
おじゃまして！

ザ・イエローハウス

広報部 三國 美香

7月23日、東綾瀬にあるザ・イエローハウスにおじゃましました。この施設には公認心理師、保育士、臨床心理士、英語・韓国語が話せるスタッフが在籍し、未就学で発達障害や、偏りのあるお子さんへの児童発達支援や、通園・通学中の集団生活で不適応の状態にあるお子さんが通う施設への保育所等訪問支援をされています。

発達支援では、専門職員が一人ひとりに合わせたプログラムで週



明るく楽しい感じの入口

1回1時間の「好きなあそび」から、関心・発展・発達へと導きます。発達支援に悩める親御さんにとって嬉しいサポーターだと感じました。そして、訪問支援では、職員・子供・保護者のそれぞれの間に信頼関係が薄いと感じられる事が多くあるそうです。

問題行動を繰り返していると、叱られてばかりで疎遠になりがち。でも「今日はちゃんと座っているね」など、優しい声掛けがきっかけで好転するとも伺い、信頼関係に大切な「誠実に共感しあえること」が出来ているかと自問し、反省満載な取材となりました。



古島先生(右)と和やかな談話

ブロック教育懇談会

足立区の学校 ICT 教育の現状やこれからの方向性

第4ブロック 鈴木 昌友

第4ブロック教育懇談会が7月7日、西新井センターで開催され、「足立区の学校 ICT 教育の現状やこれからの方向性」をテーマに学びを得る貴重な機会となりました。



田中先生によるお話

前栗原小学校長であり、現在は学校 ICT 推進課・教育 DX アドバイザーを務めておられる田中泰徳氏より、GIGA スクール構想や教育 DX の概要、Society 5.0 時代を生き抜く力として、思考力・判断力・表現力などの資質や能力の育成の重要性が語られました。授業の在り方も「やらされる学び」から学ぶことへの興味・関心を持ち、自ら調整しながら他者と協力し試行錯誤して理解を深める「主体的・対話的で深い学び」

への転換が求められており、ICT の活用がそのカギとなります。課題としては、情報モラル教育や端末環境の整備、心身の健康への配慮、教育格差の是正などが挙げられ、今後も家庭・地域・学校が連携して対応していく必要性が共有されました。



西新井センター2階会議室にて

みんなで学ぶ

子供たちと地域の安全

第10ブロック 蔭山 裕子

7月11日、竹の塚教育センターにて、Go! Go!! 市民防犯推進プロジェクト主宰 市民防犯インストラクターの武田信彦講師をお招きし「みんなで学ぶ子供たちと地域の安全」をテーマに教育懇談会を開催しました。

子供を守る3つの防犯力として、地域のちから、大人（保護者）のちから、子供のちからが合わさって

初めて子供たちを守ることができるとお聞きし、今までの防犯に対する考え方が変わりました。

私も子供たちに今までは知らない人とは話さない、すぐ逃げると教えてきましたが、あいさつは助け合いを育む大切な基礎力であるため、人と人がつながり合える防犯活動を行うためには笑顔と挨拶は必要であり、人との関わりの中での防犯が大切であると思いました。

後半では子供に伝えることとして人との距離の保ち方、SOSを発信し逃げる方法など説明していただき、また大人としてどのように見守りと助け合いを両立できるか実技で体験しました。



笑顔と挨拶が大事と語る武田講師

子供の防犯力は、家庭や家族で育んだ「生きる力」、まずは危ないと察知できるような教えるだけでなく必要がある」と講義を通して学ぶことができました。

講師の先生の「あいさつの種まきで見守りの花を咲かせましょう」というお言葉がとても印象深

く心に残り、今後も学校・地域と連携を深め子供たちが安心安全に過ごせる地域を作っていきたいと思いました。



人との距離の保ち方の実技

令和7年4月発行
あだち教育だより90号に
掲載されました

青少年委員さんって
どんな仕事をしているの？

青少年委員さんの活動

- 1 学校訪問**
学校を訪問することで、先生はもちろん、保護者や子どもたちの声にも関わっています。
- 2 地域連携**
地域イベントの企画・運営を行っています。また二十歳の祭りなどの、足立区のイベントへの参加協力も行っています。
- 3 家庭支援**
日々、安心・安全に過ごせるよう、支援するとともに、子どもたちの成長を応援しています。

青少年委員さんって
どんな仕事をしているの？

足立区青少年委員とは、教育委員会から区立小・中学校ごとに1名ずつ委嘱された非営利公務員です（任期は2年以内）。家庭・地域・学校・教育委員会をつなげるコーディネーターとしての役割を担っています。

研修部の活動

研修部長 古川 美奈子

今年度の活動は、前年度開催の『より良い関係づくりのためのコミュニケーションのコツ』の研修を受け、更に学びを深めるため5月19日『世のトラブルはハラスメントにあり』という衝撃的なタイトルではありますが、フォローアップとし、弁護士 遠藤啓之様をお招きし、ご講義いただきました。「伝える」＝「伝える」ではないということ。2回の研修により先ずは、コミュニケーションを深めることの重要性を学びました。

9月6日、7日には足立区の中학생がお世話になっている新潟県魚沼市に出向き、子供たちがどのような活動を経験しているのかを実際に視て、体験しました。

また、今期最後には全体研修会を予定しております。青少年委員として、何が必要であるかを念頭に置き、全ての企画・運営を研修部一丸となり取り組んでまいります。

事業部の活動

事業部長 渡邊 淳子

事業部では、『年中行事・記念日を大切にしよう』という足立区青少年委員会の取り組みのもと、年4回（端午の節句・七夕・お月見・お雛様）、区役所アトリウムにて飾り付けを、それに伴いポスターの作製、区立こども園・小中学校への配付を行っております。

6月8日には第28回青少年健全育成団体親睦球技大会を運営しました。また七夕飾りには、区民の皆さまによる1,333枚の短冊に願いが掛けられました。現在は、10月11日、12日に開催予定の『あだち区民まつり』でのイベント（ミニSL・1円玉アート・ウォーターコイン）に向けて準備を進めております。

今年度も「元気で明るく楽しく前向きに」をモットーに、事業部一同一丸となって活動に取り組んでまいります。



熱戦に次ぐ熱戦

優勝 スポーツ推進委員会
準優勝 青少年委員会
第3位 教育委員会
敢闘賞 小学校長会

第28回青少年健全育成団体親睦球技大会

今年度は競技種目を「ビーチボールバレー」とし、6月8日に東綾瀬中学校にて青少年委員会主催の親睦球技大会を開催しました。

各団体2～4チームのエントリーがあり20チームが熱戦を繰り広げ、選手の掛け声、応援団の熱い声援で大変盛り上がりしました。

会場を足立区勤労福祉会館ブルミエに移し160人余りの参加者の中、成績発表、表彰式、そして各団体の紹介を行い、それぞれが親交を深め親睦球技大会は閉幕となりました。

ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げ、来年の大会にも多くの方が参加されることを願っております。



青少年委員会一同、皆さまに感謝です



区長、高田香様と高橋会長

けんちゃんの朝顔種まき会

5月17日、六町駅のロクマルステーションで「けんちゃんの朝顔種まき会」が行われました。

足立区内の交通事故で亡くなった当時小1のけんちゃんが残した種から育った朝顔。その種をお母さんの香さんは交通安全のシンボルに願いを込めて配る活動をしています。あいにくの雨模様の中、香さんや近藤区長から手渡された種をお父さん、お母さんに連れられた多くの子供たちが一粒一粒丁寧に植えていました。



上手に植えてね



けんちゃんの朝顔



第7ブロック
中川北小学校担当
令和7年7月14日から委嘱
石井 隆之



第10ブロック
中島根小学校担当
令和7年5月12日から委嘱
谷敷 勝治



第13ブロック
足立入谷小学校担当
令和7年4月1日から委嘱
清水 俊幸

新任委員紹介

また、ハラスメント研修会では自らの行動の振り返りができ、イエローハウスの取材では子供の個性について考えさせられました。広報紙等で情報発信することにより、何か今後の活動の一助になればうれしく思います。

全ブロックの教育懇談会の様子、年間を通しての活動などホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

広報部副部長 大西 るり子

編集後記